

【国際地域文化研究科】ディプロマ・ポリシーに示された「力」と学位論文審査基準との対応

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	学位論文審査基準からみたDPに示された「力」との対応
国際地域文化研究科・国際地域文化専攻	M	DP1：文化と社会の多元性を理解するための学問探究に不可欠な資料収集およびそれを読み解き分析する能力	資料収集・分析する能力 先行研究に関する言及との関連、文献の利用目的
		DP2：専門とする地域や文化の研究に関する高度な知識や言語運用能力を有して問題解決に応用できる力	高度の知識や言語能力 学術的価値・独創性等 問題解決に応用できる力 論文の体裁、全体の論旨の展開
		DP3：文化的・社会的共生の実現に資する公正で客観的な判断を行い、多元的な文化と社会の中で意思疎通を図れるコミュニケーション能力	公正で客観的な判断、コミュニケーション能力 研究倫理
	D	DP1：国際社会における多様な文化と価値観を理解すると同時に、問題を的確に把握し対処できる能力	多様な文化と価値観を理解 先行研究に関する言及との関連 問題を的確に把握し対処できる能力 学術的価値・独創性等、研究倫理
		DP2：国際地域文化に対する広い視野と豊かな知識を踏まえ、先行研究・資料の高度な分析を基に、専門分野における研究で新たな知を創造する能力	先行研究・資料の高度な分析 論文の体裁、先行研究に関する言及との関連、文献の利用目的、全体の論旨の展開 新たな知を創造する能力 学術的価値・独創性等、研究倫理